

Enforced Licenses/Smart Licensing Authorization Code(SLAC)をオンプレミス導入にインストールするには、どうすればよいですか。

内容

外部のお客様/パートナー様専用：これらの手順は、お客様/パートナー様が問題を解決するために次のアクションを実施する際に役立ちます。この手順に従ってお客様やパートナーで問題が発生した場合は、ライセンスサポート(<https://www.cisco.com/go/scm>)でサービスリクエストをオープンして解決してください。

ビデオ

このコンテンツの目的は、教育用または情報用の情報を共有することです。ビデオを見るか、以下のコンテンツを読むかを選択できます。どちらも同じ内容であるため、好きな形式で自由に操作できます。

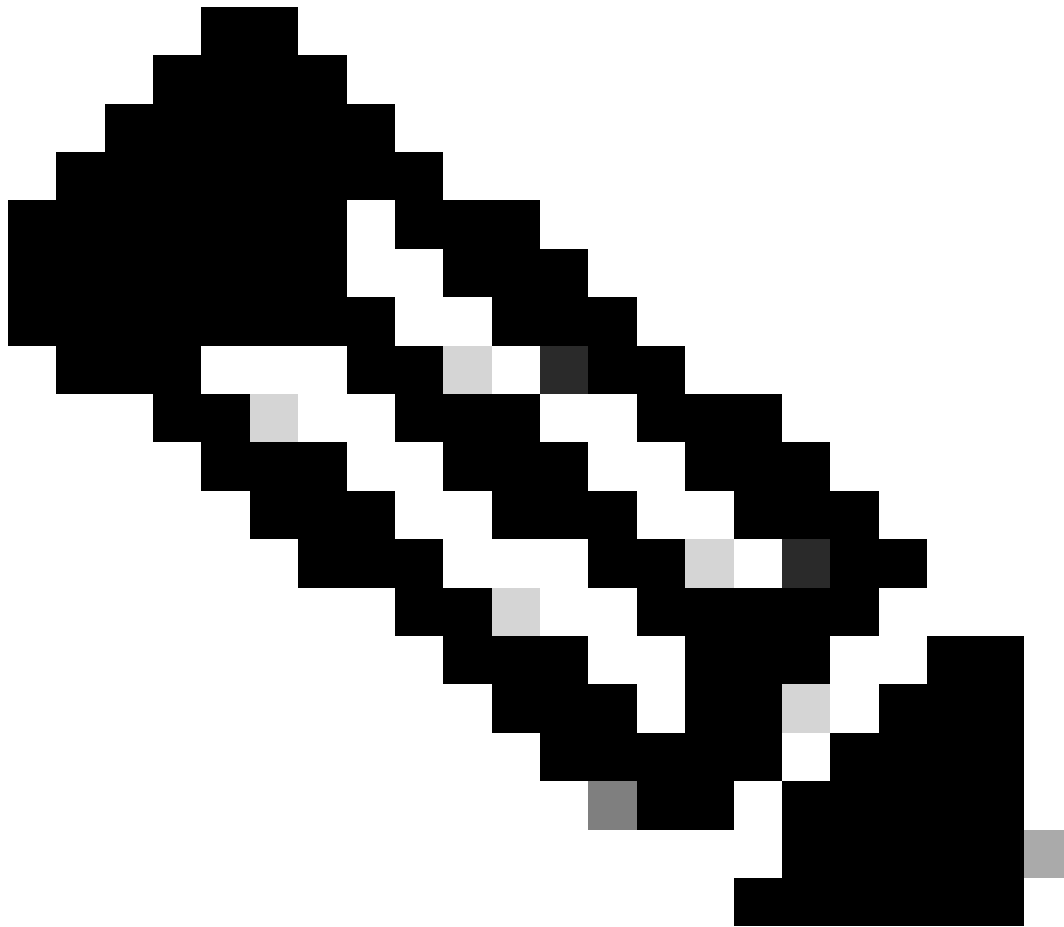
はじめに

OnPrem導入を使用したデバイスへのSLACのインストールは2段階のプロセスで、デバイスは使用状況レポートをOnPremに送信する必要があり、OnPremはデバイスによって送信された使用状況レポートのACKを受信するためにCSSMと同期する必要があります。ネットワーク同期を使用している場合は、ネットワーク同期スケジュールに応じてSLP同期がトリガーされます。必要に応じて、オンプレミスGUIの[レポート]タブからいつでも手動でネットワーク同期をトリガーすることで、より高速な方法を実現できます。

前提条件

開始する前に、次の点を確認してください。

- シスコスマートアカウント
- スマートアカウントまたは仮想アカウントにアクセスできる有効なCCOユーザIDとパスワード。
- SSMオンプレミスへの管理者アクセス
- 製品インスタンスがOnPremからACKを受信しました (SLPに対するCSSMとのOnPrem同期が完了しました) 。



注：

- ライセンスサポートチーム以外の社内シスコリソースを使用している場合は、これらの操作を自分で実行しないでください。
- 特定の製品インスタンスでの使用が承認されたエクスポート制御ライセンスは、仮想アカウントに予約済みとして表示されます。

手順

OnPrem DisconnectedモードでSLAC要求を生成するには

手順1:CSSMで認証コードを生成します。

ステップ1A:<https://software.cisco.com/>からCSSMクラウドにアクセスします。

ステップ1B：クレデンシャル、ユーザ名、パスワードを使用してログインします。

ステップ1C：右上隅から正しいスマートアカウントを選択します。

ステップ1D:Smart Software ManagerでManage Licensesをクリックします

ステップ1E:インベントリタブをクリックし、仮想アカウントを選択します。

ステップ1F: Product Instanceタブに移動します。

ステップ1G:Authorize License-Enforced Featuresボタンをクリックします。

ステップ1H：新しいポップアップウィンドウで、Proceedをクリックします。必要な情報を入力します。入力ミスを避けるために、デバイスの「show license udi」出力からこれらの値をコピーすることをお勧めします。

ステップ1I:ライセンスタイプと数量の選択：仮想アカウントで利用できる非デモライセンスのみを選択できます

ステップ1J：デバイスタイプを特定できなかった場合（例：C8000v）、ドロップダウンメニューからタイプを選択するよう求められます（DNAオンプレミスのみが表示される場合があります。DNAオンプレミスを選択しても構いません）。

ステップ1K:Generate Authorization Codeボタンをクリックしてから、Download as Fileをクリックして、ラップトップまたはデスクトップに認証ファイルをダウンロードします。

ステップ2:認証ファイルをオンプレミスにインポートする

手順2A:SSMをオンプレミスで開きます([https://\(IPアドレス\):8443/#/mainview/](https://(IPアドレス):8443/#/mainview/))。

ステップ2B:Licensing Workspace > Smart Licensing > Inventoryタブに移動します

ステップ2C:Policyタブを使用して、SLに移動します。

ステップ2D：該当する仮想アカウントを選択します

ステップ2E:Export/Import Allをクリックし、ドロップダウンメニューからImport from Ciscoを選択します。

ステップ2F:CSSMから以前にダウンロードした認証ファイルを選択します。

ステップ3:製品インスタンスに認証コード要求を送信します。

ステップ3A：デバイスで、ライセンス認証要求をトリガーします。

ステップ3B：数分待ってから、「show license authorization」コマンドを使用してライセンス認証を確認します。

ステップ3C：ライセンスが承認されたら、デバイスで機能を有効にする必要があります。次の手順は、使用されているプラットフォームによって異なります。

ネットワーク接続モードを使用してSLACをインストールするには

ステップ1：デバイスで、ライセンス認証要求をトリガーします。

ステップ2：オンプレミスGUIで、License Workspace -> Smart Licensing -> Reports -> Click on Usage Schedules -> Synchronize now with Cisco Buttonの順にクリックします。

ステップ3:CSSMがACKを生成するのを待ち、OnPremは生成されたACKをCSSMから取得します。

ステップ4：デバイスが次回ポーリングするときに、間隔に応じてACKがオンプレミスからデバイスに送信されます。

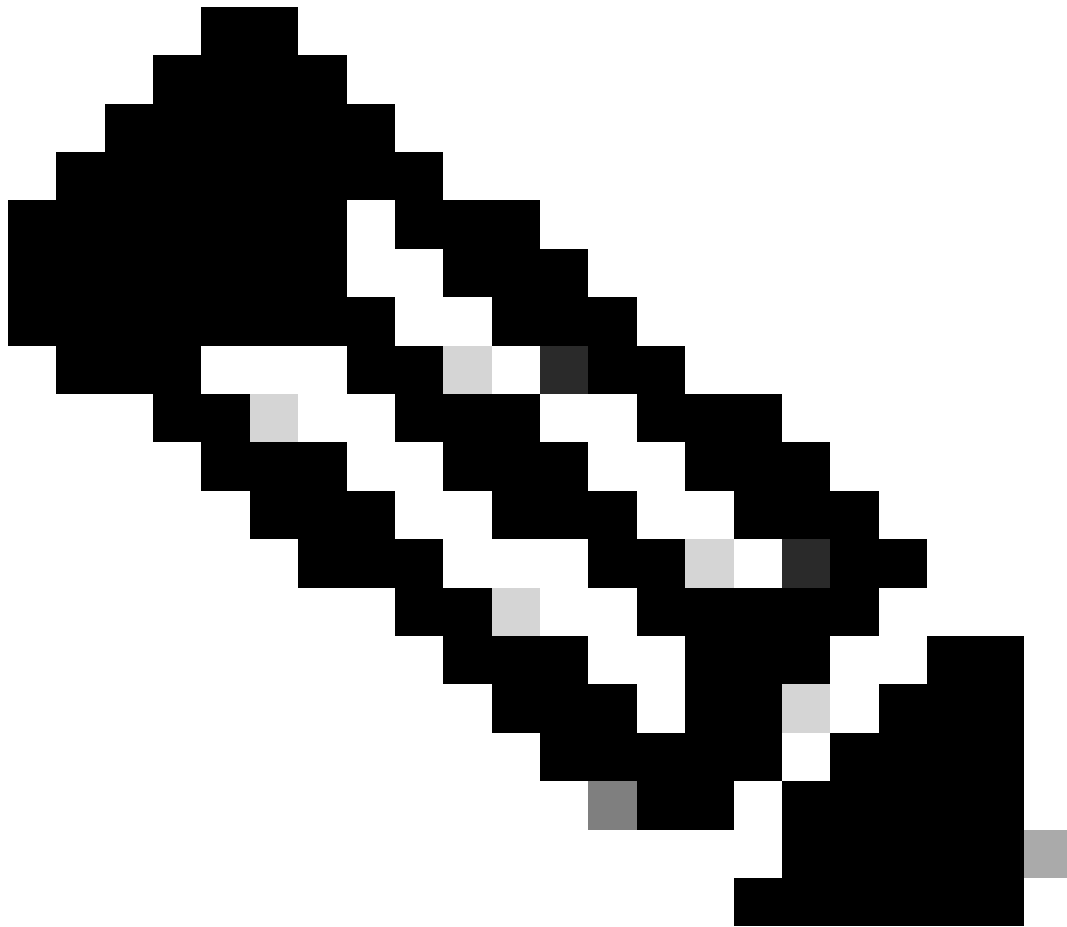
ネットワーク接続モードでOnPremからCSSMへのインスタント認証要求を有効にする

ステップ1:On-Prem Admin Workspace([https://\(IP Address\):8443/admin/#/mainview](https://(IP Address):8443/admin/#/mainview))で、Settingsウィジェットをクリックします。[Settings] ウィンドウが表示されます。

ステップ2:CSLUタブをクリックします。

ステップ3:CSSMへのインスタント認証要求を右にスライドさせて有効にします。

ステップ4：保存をクリックします。



注：

- CSSMへのインスタント認証要求は、プッシュモードデバイスのみをサポートします。プルモードデバイスはサポートされていません。
- CSSMクラウドでは、使用されるライセンスの総数にリザーブライセンスが含まれます。ただし、SSMオンプレミスではサポートされていません。これにより、CSSMクラウドとSSMオンプレミスでは、複数のSLAC要求の送信後に、異なる数の使用中ライセンスが表示されます。
- CSSMへのインスタント認証要求は、接続モードでのみサポートされており、切断モードではサポートされていません。
- インスタント認証は、IOSバージョン17.9以降 (Smart Agentバージョン5.3以降) のデバイスにのみ適用されます。
- 特定の製品ガイドを参照して、デバイスに認証コードをインストールする詳細な手順に従うこともできます。

製品インスタンスからのデータの収集

分析のために製品インスタンスから次の出力を収集します。

A) アクティブ化され、使用中のライセンスを確認する

-show version

– ライセンスの概要の表示

- show license authorization (ライセンス認証を表示します)

- show license usage <<<永久ライセンスとサブスクリプションのライセンスも表示されます。

B) トランスポートURL、およびOnPremに送信されたRUMレポートがあるかどうか、および/またはACKが受信されたかどうかを確認するには、次のコマンドを実行します。

– ライセンスステータスの表示

C) 適用/輸出規制ライセンスが許可されているかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

– ライセンス認証の表示

D) OnPremとの間で送受信されたメッセージを確認する

– ライセンス履歴メッセージの表示

このプロセスで対処できない問題が発生した場合は、ソフトウェアライセンスオプションを使用して、[Support Case Manager\(SCM\)](#)でケースをオープンしてください。

このドキュメントの内容についてのフィードバックは、[ここ](#)を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。